



米国 Kirk-Rudy 社製の搬送装置に PROSPER S5 を搭載

KODAK PROSPER S5を導入してすぐ、最初の 仕事でハガキ32万通の宛名を印字。わずか2日弱 で終え、その圧倒的なスピードと品質を大絶賛。

CHALLENGE

ダイレクトメールの宛名印字の生産性と品質を高め、受注増に対応するためには、どうすればよいのでしょうか？

SOLUTION

KODAK PROSPER S5インプリンティングシステムで印字スピードと品質を向上。

KODAK IJ Data Prepソフトウェアのインクリダクション機能で乾燥性能を高め、インク使用量を削減。

RESULTS

- 毎分152mの最高スピードでバリエブル印字を実現。
- オフセット印刷に匹敵する印字品質 (600×600dpi)。
- ハガキDMの宛名印字で最高毎時45,000通を達成。
- PROSPER S5の最大生産能力は月400万通以上。
- ハガキ32万通の宛名印字をわずか2日弱で処理。
- 生産性、品質、操作性、柔軟性、信頼性のすべてにおいて従来設備を凌駕。

1台のKODAK PROSPER S5で、月産400万通以上のハガキDMの宛名印字が可能。既存設備の2倍以上の生産性でダイレクトメールの受注増に対応。

DM 業界トップクラスの年間取扱実績を誇る成長企業

ディーエムソリューションズ株式会社は、ダイレクトメール・定期刊行物・宅配便などの発送代行サービスを中心に、EC 事業者の物流代行・コンサルティングサービス、さらには自社運営のインターネットビジネスまで、ネットとリアル両方のインフラを駆使した幅広い事業を手がけている。なかでも社名の由来でもある DM 分野では 2004 年の設立以来、右肩上がりの成長を続け、現在では年間取扱実績が約 1 億 6,200 万通、取引会社数累計が約 12,500 社と業界トップクラスの地位を確立している。営業拠点は東京・吉祥寺の本社を中心に、横浜・大阪・名古屋・福岡・仙台の 6 カ所、生産拠点は東京・多摩エリアにロジスティクスセンター、フルフィルメントセンター、メールセンターを 6 カ所、名古屋と大阪にもメールセンターを擁し、全国各地の企業・団体ニーズをカバーしている。





写真右から西日本ダイレクトメール事業部 大阪メールセンター／名古屋メールセンター センター長の玉置友大氏、大阪メールセンターの奥田亜耶氏、大阪メールセンターの係長 久代タ利恵氏

KODAK PROSPER S5で西日本エリアの需要増加に対応

同社の大阪メールセンターが KODAK PROSPER S5 インプリンティングシステムを導入したのは2024年9月のこと。KODAKの代理店である高千穂交済株式会社が米国 Kirk-Rudy 社製の搬送装置に PROSPER S5 を1台搭載し宛名印字装置として納入した。西日本ダイレクトメール事業部 大阪メールセンター／名古屋メールセンター センター長の玉置友大氏は導入の経緯について次のように話してくれた。

「大阪と名古屋のメールセンターは大阪、名古屋、福岡の営業所で受注したダイレクトメールの仕事を担当しています。郵便料金の値上げやネット広告の台頭など紙のDMには逆風もありますが、企画からデザイン、印刷、発送まで1社で完結するワンストップサービスと大ロットから中小ロットまできめ細かな対応力が評価され、受注量は増加傾向で推移しています。このため既存のインクジェット装置だけでは、将来、処理しきれなくなると考え、新しい生産ラインの導入を以前から検討してきました。今よりスピードが速く、クオリティの高い製品を求めて20種類以上比べましたが、価格、品質、スピード、保守面などを考慮すると、PROSPER S5 インプリンティングシステムが最もふさわしいソリューションと判断し導入を決めました」

ハガキサイズのDMを毎時45,000通で高速バリエーション印字

大阪メールセンターの係長である久代タ利恵氏は、PROSPER S5のスピードとクオリティに「正直驚いた」と次のように絶賛する。

「今まではハガキサイズのDMで毎時20,000通が限界でしたが、新しいPROSPER S5は2倍以上の毎時45,000通での高速印字が可能になりました。品質もドットの粗さがなく、小さな文字もカスレることなくきれいで、バーコードなどの細かな線もくっきりと印字できます。このスピードで、このクオリティが出ることに正直、衝撃を受けました」PROSPER S5は、印字幅10.6cm、最高速度毎分152m、そしてオフセット印刷に匹敵する品質（600×600dpi）でバリエーション印字が可能なインプリンティングシステムである。同社ではこのPROSPER S5の能力を最大限に活かし、ハガキDMの宛名印字で最高毎時45,000通という驚異的なスピードを実現したのである。

「PROSPER S5を導入してすぐ、初めての仕事で32万通のハガキDMの宛名を印字しました。今までだと4日間かかるところ、わずか2日弱で処理でき、厳しい納期にも間にあいました」

“毎時45,000通のスピードで、このクオリティが出ることに衝撃を受けました。小さな文字もきれいで、バーコードなどの細かな線もくっきりと印字できます”

1台のPROSPER S5で月産最大400万通の生産性

インクジェットのオペレータを担当している奥田 亜耶氏は PROSPER S5の優れた操作性について言及する。

「PROSPER S5は搬送系を含め、操作が簡単で、セッティングにも手間がかかりません。印字位置やサイズ変更に伴う仕事替えは従来の半分程度の時間で終わります。つい先日行われた社内向けの実演では、スムーズな仕事替えで10分間に5,000通の仕事进行处理し、東京のセンター長も驚いていました」

さらに PROSPER S5はプリンティングヘッドと用紙との距離を最大7mm程度まで調整できるため、厚みのある印刷物でも安心して印字でき、高速でも用紙が接触する心配はない。このように生産性、品質、操作性、柔軟性、信頼性のすべてにおいて、PROSPER S5は従来のインクジェットを凌駕する性能を発揮した。ただ、玉置センター長が唯一心配していた点は水性インクの乾燥性だった。このため、導入前のテストでは印刷の難しい光沢紙など、あらゆる用紙で問題がないことを確認した。さらに同センターではインクリダクション機能を搭載した KODAK IJ Data Prep ソフトウェアを導入し、万全を期す予定である。このデータ作成ソフトウェアにはベタ部分を網点化し乾燥性能を高める機能があり、インク使用量の削減にも寄与する。

大阪メールセンターのDM差出し通数は月平均700万通。内200万通をインクジェット装置で宛名印字している。PROSPER S5の実績はまだ50万通程度だが、玉置センター長は「今後、扱量をどんどん増やしてゆく」という。PROSPER S5の最大生産能力は400万通を見込み、DMの受注量が大きく上ぶれしても心配はない。まさに PROSPER S5が同センターの宛名印字基盤となって活躍することだろう。



ディーエムソリューションズ株式会社

代表取締役社長：花矢 卓司

本 社：〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-1-3 クリスタルパークビル2F
大阪メールセンター：〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫内15号棟
TEL.06-7166-3768 FAX.06-7166-3769
<https://www.dm-s.co.jp/>

©KODAK, 2024. KODAK, PROSPER, および KODAKロゴはKodak社の商標です。仕様は予告なく変更になる場合があります。



コダック ジャパン <https://www.kodak.com/ja>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)

大阪：050-3819-1266 名古屋：050-3819-1265 福岡：050-3819-1270 札幌：050-3819-1250
2024-12